

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス元気の学校			公表日		2025 年 4 月 10 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容にて部屋を使い分けしている。 屋外等も使い工夫している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		配置数は適切である。状況によっては、人が足りなく感じる時がある			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		部屋毎の使用用途は子供達も理解している。 トイレ、玄関はバリアフリーとなっている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		4sは毎日実施している。活動に unnecessary のものは出来るだけ片付けている。換気等も行い空気環境にも気をつけている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別対応が複数名でた場合は工夫が必要。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月毎の目標 個々の目標等を明確にして スタッフ間でPDCAについて意見交換し、内容を共有している			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を参考にし検討している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援前に毎回ミーティングをし、情報の共有等を実施している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月社内研修の開催 及び外部研修へスタッフ交代で参加している。			
適切な 支援の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者と本人の面談により ニーズ 課題の把握 職員間での分析を行い作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画案を元に 検討し共通理解を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全員で討議を実施し内容の共有と計画に添った支援を実施している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認している不適応行動への対応の場合 詳細な行動記録をとらないといけないケースもある。。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		社会参加した時を考慮した内容を目標としガイドラインに沿った支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当が立案した内容をチームメンバーにて検討している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化されないように様々な内容を取り入れ経験に繋げている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別・集団それぞれに応じた課題を設定し支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前には打ち合わせを行い役割分担は利用者状況等確認し支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		口頭やメッセージによる共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は必ず取り その後検討をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低6か月に一回はモニタリングを実施し見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		偏りのない支援を心掛けている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動を選ぶ等 自己選択の機会を作り決定してもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		自発管、担当者が参画している、	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域内 角田医院と体制協力の契約を交わしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		メールや 口頭にて連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援員を介して、情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて保護者・本人に了承を得て提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修等の機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人事業の駄菓子屋や公園遊び等で地域の子供達とも交流している。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		対面 連絡帳により 情報共有を行い共通理解を深めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後実施していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時 変更時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談によりニーズなどを確認し実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		内容確認を行い、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて助言 提案 支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は実施している。イベント等の参加により 交流する機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		玄関ホールに意見箱を設置 苦情対応の体制も整え、対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月自社新聞を発行している。 HPやSNSを活用し情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		スタッフには個人情報守秘義務の必要性和と誓約書を交わしている。書類は鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思疎通がスムーズにいくように、ツール等を使用している。またコミュニケーションを取りやすくなる関係性を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人事業の駄菓子屋やイベント開催にて地域との交流を実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		BCP各委員会にてマニュアルの策定し各事業所に職員全員への理解と周知の徹底。また災害時の避難訓練も年に2回実施、地域住民も参	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP各委員会にてマニュアルの策定し各事業所に職員全員への理解と周知の徹底。また災害時の避難訓練も年に2回実施、地域住民も参	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		フェースシートや聞き取りにて確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		家族を介して確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修や訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		HPIにより周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		必ず当日には職員と原因や対策の検討をし、また月一回のミーティングでも再度全体の職員に向けて報告と周知をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会より研修を受け、その後事業所内にて研修と事例があれば討議等実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在 事例はありません。		